

いのちと暮らしの守り手
市民と共に歩む高崎市議団へ、お悩みや相談は遠慮なくお電話などください。

竹本 まこと 362-7466
依田 よしあき 373-8317
清塚 なおみ 347-0903



2013年1月 第5回議会特集

発行：日本共産党高崎市議会議員団

〒370-8501 高崎市高松町35番地1
高崎市議会議員団控室
☎027-321-5757 FAX027-321-5757
〒370-0801 高崎市上並榎町195
日本共産党西毛地区委員会気付
☎027-361-4511 FAX027-362-6775

新年度予算要望を提出

公約実現めざし

日本共産党高崎市議団は、2012年11月13日富岡市長と懇談し、予算編成にあたり、「住民の福祉を

福祉・教育・子育て支援重点に

予算要望は、大項目で22分野、具体的な細部の要望では福祉・医療など社会保険制度の充実など55項目、教育関連35項目、子育て支援18項目を含む、223項目について要望いたしました。



市長に要望書を渡す（右から依田・竹本・清塚市議）

とを報告し、子育て支援や高齢者対策に大きな期待が寄せられていることを強調しました。

とりわけ国保税の引下げは、三度に及ぶ議会への請願、署名運動など切実な訴えになっていることを申し添えました。

富岡市長からは、市政に対する共産党議員団の真摯な姿勢は理解できる、各項目は、関係部署において検討させたいと報告がありました。

都市集客施設を考える

高崎駅東口に、2つの大きな都市集客施設の建設計画が進んでいます。

1つは競馬場跡地に県が進めるメッセ機能を持つ大規模施設で国際会議場などのコンベンション施設。

他の1つは高崎市が進めている音楽ホールと中小の会議室などと民間商業施設を合わせた複合施設。

高崎市ではさらに高崎駅西南、日清製粉跡地に新体育館建設計画が進められています。

計画は広報たかさき等で

国保税引下げの展望見える中 市議会で請願不採択

9月議会で継続審議となっていた、高すぎる国保税を引き下げてほしいという請願が12月議会で日本共産党議員団を除く全議員によって不採択となりました。

付託された請願は、市民経済常任委員会で審議されましたがこの審議に先立ち、行われた一般質問等の関連で、国保税の引下げを検討しているということが伝わるなかでの不採択でした。日本共産党議員団は引



下げが検討され始めたとはいえ、引下げの内容が報告されているわけではない。今後の引下げ内容にも影響する大事な時期、不採択は認められないと反対しました。

市民の疑問と不安

どんどん進む具体化に不安や批判的意見も少なくありません。

たとえば、430億円を使うことを考えるべき、類似施設の需要状況や箱もので集客に成功した例はない、競馬場跡地に県が進める施設との競合、重複。国、県、自治体が運営したとこ

問われる建設規模

市の総事業費は約370億、430億円、(市費は60億、80億円の見込) プラス新



ろは赤字を税金で穴埋めをしているところがほとんど、維持管理が予想以上に嵩むことなどの懸念、また周辺交通のアクセスや駐車場など周辺住民生活への影響も大きな課題になります。

無料・法律生活
相談会

毎月 第2(金曜日)
午後6時

第4(金曜日)
午後1時

必ず電話等で予約してください。

連絡先

党事務所

361-4511

竹本議員

362-17466

依田議員

373-18317

清塚議員

347-0903

(秘密厳守で行っています)

尚、生活相談は随時行っていますのでお気軽にお問い合わせください。

体育館建設の総事業費は85億90億円(市費約25億)と試算。

音楽センターや現体育館の老朽化で新しい施設が望まれますがその規模は財政力や他の施策との関係など適切な規模が必要ではないでしょうか。

集客施設として過大な規模は疑問です。



不登校 いじめ ひきこもり

競争と序列化の教育あらためよ

12月定例議会 一般質問

清塚なおみ議員は昨年12月定例議会一般質問にたち、高崎市における不登校・いじめ・ひきこもりの現状と支援について対応を質し、不登校・いじめをなくすために競争と序列化の教育を改め「子供の人權」を何よりも大切にしなければならぬと強調しました。(要旨)

清塚議員は質問の冒頭、答弁 30 自ら「高崎の不登校を考え、日以上欠席する会」などの活動を通し、した人数は議員になるまで18年間、平成21年子どもや親たちとの運動度が346に深くかかわってきたこと、22年とをのべ、質問に入りました。度、376人、23年質問 不登校の解決のため、度が369人。6日以後を大切に丁寧な対応上30日未が求められる。高崎市の小満の21年中学校の不登校の状況と度、98人、22年

度が116人、23年度が122人。不安など情緒的混乱や無気力、友人関係や学業不振、家庭環境の急激変化や親子関係などが要因。教育委員会は「不登校アクションプラン」や適応指導教室での指導の有り方を見直し学校と連携し不登校の解消に努めたい。

質問 不登校児童の居場所の現状と今後の公的支援について。

答弁 現在市内8か所に適応指導教室を設置、19名の指導員を配置している。小、中学校に配置されているスクール・カウンセラーと教職員が連携、23年度からは市独自にスクール・ソーシャルワーカーの拡充を

質問 支援の必要性を強く感じている。少しでも早く身近な相談機関に相談できることが改

度が116人、23年度が122人。不安など情緒的混乱や無気力、友人関係や学業不振、家庭環境の急激変化や親子関係などが要因。教育委員会は「不登校アクションプラン」や適応指導教室での指導の有り方を見直し学校と連携し不登校の解消に努めたい。

質問 不登校児童の居場所の現状と今後の公的支援について。

答弁 現在市内8か所に適応指導教室を設置、19名の指導員を配置している。小、中学校に配置されているスクール・カウンセラーと教職員が連携、23年度からは市独自にスクール・ソーシャルワーカーの拡充を

質問 支援の必要性を強く感じている。少しでも早く身近な相談機関に相談できることが改

善の一步。引きこもり状態から脱出し社会に出られよう個々に応じた支援を実施していく。現在整備着手しています。

12月議会において、市側から、市職員退職手当に関する条例等の一部改正について提案がありましたが、共産党の清塚議員、竹本・依田議員は反対しました。

●大幅な減額は家計や生涯設計に大きな影響を及ぼすこと ●長引く不況デフレを脱却する個人消費の拡大こそ決め手と強調。安易に官民格差を理由に賃金を引き下げ、消費を冷え込ませる政策をとるべきでない」と述べ、

市職員の退職手当 大幅な減額に反対

市側から、市職員退職手当に関する条例等の一部改正について提案がありましたが、共産党の清塚議員、竹本・依田議員は反対しました。

●大幅な減額は家計や生涯設計に大きな影響を及ぼすこと ●長引く不況デフレを脱却する個人消費の拡大こそ決め手と強調。安易に官民格差を理由に賃金を引き下げ、消費を冷え込ませる政策をとるべきでない」と述べ、



賀野町 勇壮と練り歩く「繭小町」II倉

第4回倉賀野町南町山車祭り

よき伝統と文化の復活・継承

晴天に恵まれた11月4日、倉賀野町南町の第4回山車祭りが盛大に開催されました。当日は富岡市長や区長会長、清塚なおみ議員らが出席しお祝いのあいさつを述べました。「繭小町」と名づけられた山車がゆっくりと山車蔵から引き出されると、威勢の良い山車囃子が町中に鳴りわたりました。心地よいお囃子の音色と山車を引く勇壮な姿に、沿道で待ち構えていた町民が盛んに声援を送っていました。山車祭りはいまから5年前、伝統文化を復活・継承させようとの地元有志の運動が実ったものです。

観音山公園を視察

(カッパピア跡地) 基本計画と整備状況

豊かな丘陵を活かし市民が憩える場としてゆうゆうの丘、ふれあいの森はぐくみの丘、お花畑、紅葉の谷、桜の広場、エントランス広場、竹林の里など四季折々楽しめる。また、湧水を利用した池のほとりではホテルが生息するなど、誰もが十分に満喫できる場とし



観音山公園の景観

編集後記

新年あけましておめでとございます。年の初めに伊藤県議と宣伝力一で市民の皆様にご挨拶に回りながら振り返りました。議員としてこの2年、放射能汚染からことを守る。保育行政を拡充させる。国保税を引き下げる。不登校・いじめをなくすなど母親・女性の視点から、温もりのある市政、活気ある街づくり、より良い行政を求めてきました。こ

